

第9回清瀬市地域公共交通会議 会議録

[日時] 平成28年3月30日(水)
午前10時から午前12時

[場所] 生涯学習センター6階 会議室1

[出席者] 委員 国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官(欠席。代理人出席)
東村山警察署長(欠席)
北多摩北部建設事務所長(欠席)
一般社団法人東京バス協会乗合業務担当課長(欠席)
西武バス労働組合執行委員長(欠席)
西武バス経営企画室長
一般公募による市民(3名)
清瀬市都市整備部長
事務局 清瀬市都市整備部道路交通課

[議題] 1. コミュニティバスの運行ルート及び便数の見直し・アンケート調査(案)について
2. 車両の買換・ICカードの導入について
3. 交通不便地域対策・デマンド型交通について

[提示資料等] 会議資料①から⑮まで

[議事内容]

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

《1. 運行ルート(案)・便数の見直し(案)・アンケート調査(案)の実施について》

(事務局の提案)

- ・時間帯ごとの運行便数の増減
- ・現行の2ルートの一部延伸(資料③、④)
- ・利用者アンケート(資料⑤)

(各委員の意見)

- ・時刻表については、進行ルートを決定してから見直す方が良い。
- ・運行ルートは、1周60分が限度。中里都営住宅内を周回すると、15分追加になる。あまり時間がかかると、利用者離れが生じる。西武バスとも重複していて兼ね合いが難しい。
- ・野塩方面の運行ルートは、民間路線バスがないため、検討の余地あり。
- ・アンケート調査は、利用していない人には、何故、利用しないのか、利用している人には、利用目的や目的地も聞くべき。
- ・料金は、現行の150円でいい。他市は100円でスタートし、ここ数年で値上げしている。

《2. コミュニティバスの車両買換・ICカード導入について》

(事務局の提案)

- ・車両の買換えの是非(資料⑥)
- ・他市の車両買換えの状況の紹介(資料⑦)
- ・I Cカードの導入

(各委員の意見)

【車両の買換え】

- ・車両は3台とも走行距離が少なく状態は良いので、もう少し使用可能である。
- ・目安は10年なので、バス事業者としては、計画的に買換えることが望ましい。
- ・ポンチョは発注から納車まで1年以上かかるので、計画的な買換えが必要。(※ポンチョとは、清瀬市コミュニティバスで使用している車種。)

【I Cカード導入】

- ・最近I Cカードを導入した東村山市でも、乗客のI Cカードへの移行は早かった。(70%がI Cカード利用者になった。)
- ・乗客の利便性やバスの安全・円滑な運行の為に、I Cカードは導入したほうがいい。

《3. 交通不便地域対策・デマンド型交通について》

(事務局の提案)

- ・公共交通機関の少ない下宿地区の概況(資料⑧)
- ・埼玉県新座市大和田地区の区画整理事業の構想の紹介(資料⑨)
- ・将来の西武バス延伸の要望(清瀬駅北口から新座駅まで)
- ・交通不便解消の方法(資料⑩)
- ・埼玉県志木市でのデマンドタクシー実施の事例の紹介(資料⑪から⑬)
- ・タクシー会社への聞き取り調査結果(資料⑭)
- ・当市でのデマンドタクシー実施案(資料⑮)

(各委員の意見)

【埼玉県志木市のデマンドタクシーの事例】

- ・市の財政負担が大きい事が予想される。
- ・今後の経過について当面は様子を見て判断するべき。

【デマンド型交通・交通不便地域対策全般】

- ・「デマンド」とは乗合方式。
- ・清瀬市の交通需要にあった施策が必要。本当にデマンドは必要か検証するべき。
- ・新座市大和田地区区画整理事業後の変化を見越し「つなぎ」で行うのか、長期的な計画で行うのか要検討。

《4. まとめ》

- ・今後の改革に向けて、市民に向けたアンケートを平成28年度中に行うべき。
- ・運行ルートの見直しは、市民へのアンケート結果も参考にすべき。
- ・車両買換えは計画的に行い、同時にI Cカードも導入する。
- ・志木市のデマンドタクシー実施状況について今後も経過を注視する。
- ・西武バスへの延伸の要望を行うことも含め、交通不便解消に取り組む。